

## Ⅲ ヒアリング調査からみた企業の声

### (1) 一般機械器具

#### 【景況感】

- ・足元の業界内の景況感是好況であると感じている
- ・自動車関連の受注が落ち込んでおり、景況感は下がってきている
- ・採算面が悪化しており、若干不況である

#### 【売上げ】

- ・受注減で売上高が20%程度減少した

#### 【品目別の状況】

- ・自動車関連、半導体関連の受注減となっている

#### 【受注単価】

- ・単価は上げようとしているが変わらない水準

#### 【原材料価格】

- ・鉄関連を中心に上昇基調にある

#### 【その他諸費用】

- ・物流費が上昇している

#### 【採算性】

- ・製造原価の高騰分を経費削減で吸収できず、若干悪化した

#### 【設備投資】

- ・人手に頼らない生産効率化を図るための設備投資を行った

#### 【今後の見通し】

- ・受注が落ち込んでおり先行きの景況感は下がっている
- ・原材料価格も上がることから、悪い方向に向かう

### (2) 輸送用機械器具

#### 【景況感】

- ・12月頃から良くない
- ・やや曇りの印象
- ・中国向けが減ったとの声が多い
- ・中東向けも心配

#### 【売上げ】

- ・1月は不調も、2月は持ち直し気味
- ・商用車関連は好調である
- ・建機関連は不調である
- ・半導体関連は不調である

#### 【受注単価】

- ・メーカーからの定例コストダウン要請あり

#### 【原材料価格】

- ・鉄は変わらず。ステンレス系は種類によって上がったものと下がったものがある
- ・鉄、ステンレスがじわじわ上昇している
- ・若干上昇も安易に材料は変更できない

**【その他諸費用】**

- ・工具や梱包材が上昇している
- ・電気代が上昇している

**【採算性】**

- ・価格交渉や社内合理化の成果で改善気味である
- ・採算性アップの取組中である

**【今後の見通し】**

- ・下降気味
- ・特に悪い話はないが良い話もない
- ・米中摩擦で先が見えない
- ・日米間の自動車関連の通商協議が心配である

**(3) 電気機械器具****【景況感】**

- ・中小企業は厳しい
- ・普通である
- ・中国絡みで暗雲漂っている

**【売上げ】**

- ・特に変化なし
- ・既存事業は中国関連で減少している

**【原材料価格】**

- ・少し上がった。発注後の入荷が遅れている
- ・ほとんど変わらない

**【諸経費】**

- ・技術職の新規採用が増えたため、人件費が増えた
- ・工場で使用する消耗品が値上がりした
- ・電気代の上昇。燃料調整費の影響が大きい

**【採算性】**

- ・人件費とその他の諸費用がかさむため、利益が出ない
- ・価格の低い案件は受けないようにしている

**【設備投資】**

- ・来年度より受注が増える予定の部門があり、そのための設備投資を行っている
- ・増産に伴う洗浄装置を購入した

**【今後の見通し】**

- ・見通しはどちらともいえない。米中の交渉結果次第
- ・この時期は大体来期の予測ができるが、今年は先行きが不透明である

**(4) 金属製品****【景況感】**

- ・足元の受注は相応にあり、好況である
- ・半導体関連の受注状況が悪いことから、不況であると感じている

**【売上げ】**

- ・前年同期比で同じ水準
- ・前期比で約15%減少した

**【品目別の状況】**

- ・半導体関連の受注が前期比で約30%減少した
- ・今後の自動車関連の受注が減少する見込み

**【受注単価】**

- ・諸経費の高騰を背景に、ようやく一部製品について単価を上げられた

**【原材料価格】**

- ・上昇基調にある

**【その他諸費用】**

- ・梱包材の価格が上昇している
- ・物流費が上昇している

**【採算性】**

- ・受注単価を上げられたため、採算性は良化している
- ・原材料費や人件費の増加を経費削減で吸収できず、採算性は悪化した

**【設備投資】**

- ・新規製品のための設備投資を行った
- ・生産管理システムへの設備投資を行った

**【今後の見通し】**

- ・先行きについては不透明でどちらともいえない
- ・受注が弱含みであり悪い方向へ向かうと感じている

**(5) プラスチック製品****【景況感】**

- ・半導体関連が不調。年末頃から引き合いが少なくなってきた
- ・中国のインフラ向けは良いが、全体としては横ばい

**【売上高】**

- ・医療・食品向けはまずまずだが、半導体向けは不調
- ・建設系は好調
- ・小売店舗向け商材は不調

**【受注単価】**

- ・値上げ交渉の結果、改善傾向にある
- ・ほぼ変わらない

**【原材料価格】**

- ・樹脂材料は高止まりしている

**【人件費】**

- ・休日出勤対応により増加気味である

**【採算性】**

- ・受注単価の改善により、採算性は良くなった
- ・ほぼ変わらない

**【設備投資】**

- ・既設設備の更新、新規受注対応に向けた投資を行った

**【今後の見通し】**

- ・半導体向けは不透明な状況が続く
- ・米中の関係次第

## (6) 食料品製造

### 【業界の動向】

- ・下請け企業が、自社ブランドでの商品展開を図る動きが活発化してきている
- ・当面中小・零細の食品小売業者の廃業は進むとみている

### 【景況感】

- ・受注状況は悪くない一方で、収益力が落ちているため普通であると感じている

### 【売上げ】

- ・OEM生産の受注の増加が売上高増加に寄与している

### 【製品単価】

- ・単価を上げることはできなかった

### 【人件費】

- ・社員の増員に加え、ベースアップを行っていることから増えている

### 【採算性】

- ・原材料価格の高騰を受注単価に転嫁できず、赤字決算となる見込み

### 【設備投資】

- ・増産のための設備投資を行った

### 【今後の見通し】

- ・不透明感が強くどちらともいえない

## (7) 銑鉄鋳物

### 【景況感】

- ・総じて悪くないが、業績の悪い企業もでてきている

### 【売上げ】

- ・半導体関連の設備投資低迷により、受注が落ちている。中国市場でのスマホ需要が低迷していることが影響している
- ・売上げは、昨年暮れから弱くなった企業が目立つ。また、前年度が「良すぎた」感があり、対前年度では、減少している企業が多い
- ・「働き方改革」により、生産量を思うように増やせないことが取引量低下につながっている

### 【原材料価格】

- ・一時期、値上がりした鉄スクラップが国内で急増し、むしろだぶついている状況

### 【製品価格（受注単価）の動向】

- ・原材料等、価格を変動させる要因はほとんどない

### 【人件費】

- ・「働き方改革」で残業代は減っている。従業員には不満の声もある

### 【設備投資】

- ・フォークリフトをEV化したほか、複数の機器のオーバーホールを行っている

### 【今後の見通し】

- ・中国経済が良くないので、業界全体として負の影響は避けられないと考える

## (8) 印刷業

### 【景況感】

- ・業界としては、一番受注が多い時期であるが例年通りで、景況感は普通である
- ・業界として変わらず不況である。今後の基盤変化に対応できるかが重要となる

### 【売上げ】

- ・例年メーカーのカタログなどの注文が多くなる時期だが、新規の受注も増えている
- ・今年は選挙関連の受注も増えている

### 【受注単価】

- ・紙の値上げ分については、注文の工程が複数にまたがるため、単純に転嫁しにくい
- ・外注の人件費が上がったが、価格転嫁は難しく企業努力をしている

### 【原材料価格】

- ・年始から紙、インクの値上げがあった
- ・紙メーカーも生産を縮小しており、今後需要が高まるとさらなる値上げになりそうだ

### 【採算性】

- ・材料費は自前で調達しなくてよい場合が増え、採算はよくなった
- ・注文増加に伴い外注費も増加しており、採算は悪くなった
- ・デジタル事業の売上げが増え、収益もよくなっている

### 【設備投資】

- ・印刷機については、以前は先行投資をしていたが慎重になっている
- ・省人化の機械も増えている

### 【今後の見通し】

- ・ラグビー、オリンピック関連の受注が増えてきたが価格競争で疲弊してしまうので、差別化できる技術力があるかどうか重要である
- ・改元の特需により、良い方向に向かうと思っている

## 2 小売業

### (1) 百貨店

### 【景況感】

- ・購買意欲はないわけではない。価値にあったものにはお金を払う
- ・暖冬により冬物が動かず、また都心もインバウンド需要が振るわず、よくないと聞いている
- ・郊外店は、スーパーとの競争で景況感はよくない

### 【売上げ】

- ・年始のセールで少し盛り返したが、暖冬で冬物衣料が動かなかったのが響いている
- ・おせちやバレンタインといったオケージョンは上質化を図り、成功した
- ・これまで好調であった化粧品が少し落ち着いてきている

### 【諸経費】

- ・人手不足もあり、人件費は自然減となっている
- ・広告宣伝については、厳選してコストダウンを図っている

### 【採算性】

- ・販売管理費を見直してよくなっている
- ・粗利の高い婦人服などの売れ行きが厳しいため、苦戦している

### 【今後の見通し】

- ・大型連休となるGWの客足が読めない
- ・消費増税も近づいてきており、悪いのではないかと

- ・どちらともいえない

## (2) スーパー

### 【景況感】

- ・食品スーパーは好調
- ・行き詰っている感がある。消費増税、株価の下落などが心理的に不安要素となっている

### 【売上げ】

- ・野菜は相場の影響で単価が安いので、点数が売れても利益にならない
- ・暖冬で食材の売れ行きが良くない
- ・主力商品のヨーグルトが例月ほど売れない
- ・近くに大型スーパーができたが大健闘している

### 【諸経費】

- ・外国人技能実習生にかかる諸経費が大きい
- ・電気代と、保安全管理費が増えた
- ・ほとんど変わらない

### 【設備投資】

- ・昨年多額の経費がかかったので今年は控えたい
- ・エアコンや冷凍ケースの修繕がかさむ。相見積もりを取りたいが、業者が廃業しており、選択肢が限られている

### 【採算性】

- ・悪くなった
- ・採算性向上を図るため、食品ロス対策を思案中

### 【今後の見通し】

- ・どちらともいえない
- ・大手も含め、厳しいと思う

## (3) 商店街

### 【景況感】

- ・大型小売店舗の閉店セールは盛況であり、特殊事情ではあるが、購買意欲を感じた
- ・イベントで来街者は増えているが、景況感はよくはないのではないか。好景気の実感がない
- ・購買力はあまり感じず、不況ではないか

### 【来街者】

- ・ウイスキー祭りの参加者が宿泊したり、商店街の飲食店を利用して、よい影響が出ている
- ・観光の帰りに商店街付近にも立ち寄っている

### 【個店の状況】

- ・新しい店舗兼共同住宅は、1階部分は店舗スペースとなっており5件がオープン予定である
- ・ビルの老朽化により、改装工事が多くなり、店舗の移転や閉店が問題となっている

### 【商店街としての取組】

- ・ひな飾り展と合わせて100円商店街を実施する
- ・大型小売店舗の閉店にあわせて、感謝イベントを行った
- ・来街者の少ない時期に、物販店を中心に「お店塾」を開催する

### 【今後の見通し】

- ・3月にテーマパークがオープンするので、集客が見込めるのではないかと

- ・大型小売店舗の閉店中は、商店街のにぎわいがどの程度になるか予想できず、どちらともいえない
- ・どちらともいえないが、GWによるのではないか

### 3 情報サービス業

#### 【景況感】

- ・変化なし。需要は多いが、人手不足である
- ・好況である

#### 【売上げ】

- ・ほとんど変わらない
- ・改元と消費税率変更関連の仕事が入ってきている
- ・増えると見込んでいる

#### 【製品価格】

- ・SEは技術が上がると報酬が上がる。スキルに見合った報酬を付与したい

#### 【採算性】

- ・官公需契約終了に伴い、人件費の負担が軽減され、採算が良くなった
- ・悪くなった

#### 【今後の見通し】

- ・オリンピックまではいいと見込まれるが、米中関係等、国際情勢の影響も受けると思う
- ・昔ほど活気がない。東京が中心で、埼玉には仕事がない

### 4 サービス業（旅行業）

#### 【業界の動向】

- ・免許更新ができない業者がいる一方で業者数は増加しており、新陳代謝が進んでいる

#### 【景況感】

- ・全体的な景況感は普通と感じている

#### 【受注高】

- ・前年同期比でさほど変わらない

#### 【受注価格】

- ・バス旅行の単価増額が世間で認知されてきており、上げることができた

#### 【採算性】

- ・受注単価が上がっており採算性は良化した

#### 【設備投資】

- ・特段行わなかった

#### 【今後の見通し】

- ・旅行の機運は高まっていると感じており、良い方向に進むとみている

### 5 建設業

#### 【業界の動向】

- ・直近ではホテル系の建築が多い
- ・全体的に後継者がいない零細企業を中心に減少傾向にある

**【景況感】**

- ・不況とまではいわないが若干悪くなった
- ・受注状況は悪くないが、資材価格が上がっており、景況感は普通である

**【受注価格】**

- ・下げ圧力もさほどなく変わらない水準

**【資材価格】**

- ・鉄関連は5～6%上がった
- ・コンクリート関連は落ち着いた

**【採算性】**

- ・資材価格の高騰分は経費削減でなんとか吸収している

**【設備投資】**

- ・事務システムの刷新のための設備投資を行った

**【今後の見通し】**

- ・受注は旺盛であり、人手不足が少しでも解消されれば良い方向に向かう
- ・戸建ての仕入れが弱含みであり、先行きは悪い
- ・オリンピックに向けた更なる好況感を期待したいが、現状ではどちらともいえない